

平成27年3月19日

那須烏山市議会議長 佐藤昇市様

文教福祉常任委員会委員長 沼田邦彦

予算審査結果報告書

本委員会に平成27年3月11日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 平成27年3月12日（木）及び13日（金）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第2委員会室
- 3 出席委員 沼田邦彦、滝口貴史、矢板清枝、中山五男、小森幸雄
- 4 説明のための出席者
市民課長 大野治樹、健康福祉課長 樋山洋平、こども課長 青木敏、
学校教育課長 網野栄、生涯学習課長 佐藤新一、文化振興課長 両方裕
他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課、文化振興課の平成27年度那須烏山市の一般会計及び特別会計の歳入歳出予算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の予算については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

市民課

- ・マイナンバー制度の導入に向け、10月より市民への通知が開始される。円滑な導入に向けた準備を進めるとともに、市民に制度内容をわかりやすく周知するよう努められたい。
- ・国民健康保険特別会計は、財政調整基金の枯渇が懸念される。引続き健全運営に努め、さらに特定健診の受診を促進するなど医療費増大を抑制する施策を講じられたい。
- ・診療所は地域の傷病の診療だけでなく、疾病予防、健康維持等の拠点として重要性が増している。急速に進む高齢化に対し、その地域医療の拠点を持続可能とするために、地域に根ざした経営に努められたい。

健康福祉課

- ・平成28年度から地域支援対策の本格実施が始まる。事務に遺漏の無いようしっかりと進められたい。
- ・健診費用の自己負担分の軽減実施により、がん検診の受診率の向上がみられる。引続き市民の健康増進、疾病予防のため受診率の向上に努められたい。

こども課

- ・ファミリーサポートセンター事業は、11月からの稼働に向け、職員確保、事務の遂行等遺漏の無いよう準備されたい。

- ・現在保育園、幼稚園の保育士の嘱託職員の割合が55%を超えている。なんとか人員を確保し運営している状態であるが、今後は園児数の動向を検証しつつ、計画的な正職員の確保に努められたい。

学校教育課

- ・英語コミュニケーション事業は、本市の子供たちの英語能力の向上に実績をあげており評価できるものである。引続き事業の充実をはかり、児童・生徒の意欲、能力の向上に尽力されたい。
- ・児童・生徒の登下校の際の安心・安全の確保は重要である。地域住民のボランティアによる「子供見守り隊」の人選については児童・生徒が不安にならぬよう十分配慮のうえ編成されたい。
- ・現在本市でも不登校の児童・生徒がおり、学校でも対応に苦慮されていることと思われる。引続き不登校解消に努められたい。
- ・新生南那須中学校の融和融合を早期に進めるため、生徒、教職員、保護者が一体となって推進できるよう努められたい。

生涯学習課

- ・若者交流事業として市単独の婚活事業を開催するとともに、市内事業所との連携も含め、市の人口減対策、定住促進に効果をあげられたい。
- ・武道館の新設を速やかに進めるとともに、旧武道館の跡地整備についてもよく検討されたい。

文化振興課

- ・市の歴史文化を学ぶ施設として、歴史資料館の整備を進めるとともに、内外に誇れる資源である烏山城について、築城600年に向け整備を進められたい。
- ・ユネスコ無形文化遺産登録に向け、全庁的な体制のもと、連絡調整を密にし、遺漏なく取り組まれたい。